

pandoc-kakuyomu-ruby

カクヨム風のルビと圏点（傍点）を使えるようにする Pandoc フィルタ。

インストール

```
pip install regex pandocfilters
git clone https://github.com/Gamou-T/pandoc-kakuyomu-ruby.git
pandoc --filter=/path/to/ruby_kenten.py foo.md
```

latex の場合は pxrubrica に依存します。

フォーマット

ルビ対象の文字列（親文字）の前に全角縦棒 | を置き、直後に二重山括弧《 》で括ったルビを書きます。ルビ対象が漢字のみで構成される場合は縦棒を省略できます。

また latex 使用時のみ pxrubrica の機能の一部が使用可能です。

本来 pxrubrica の熟語・モノルビの区切り文字では半角縦棒 | を使用しますが、ここでは全て全角縦棒 | に統一しています。というか半角だと動きません。代わりに、書式にこだわらないなら区切らなくても動くようになってます。

なお、ルビに対応しているのは unicode 上での和文 (`\p{Hiragana}` `\p{Katakana}` `\p{Han}`)+長音記号 (ー) に限られます。

e.g. :

```
---
header-includes: # pxrubrica の読み込み、自動切替熟語ルビ（進入大）に設定
  - \usepackage{pxrubrica}
  - \rubysetup{<J>}
---
```

熟語ルビ

| 単語《たん | ご》

ひらがな単語《たん | ご》

東京特許 | 許可局《きょ | か | きょく》

鶏《にわとり》

グループルビ

あれは雲雀《ひばり》です。

圈点（傍点）

《《アレ》》

ルビが付かない

ひらがな《よみがな》

個々のルビへのモード指定には対応しておりません。

使用可能フォーマット

html ベース (html html5 epub epub3)、LaTeX(latex) に対応します。